

# 帰国子女・バイリンガル教育（英語補習校）プログラム

## — 第6期秋季講座（中学生および高校生クラス）の内容紹介（1） —

ABCD 学院 学院長 千葉紘一

日本で最初の帰国子女のための英語補習校であるABCD学院での教育について報告します。

前回（小学生クラス）に続き、中学生・高校生対象の実際に行われた帰国子女プログラムを具体的に紹介します。

### 1. プログラムの目的

現在の日本の教育で欠けている“英語力の維持向上”と“考える力の育成”を目的に、実際にアメリカで行なわれている教育を取り入れ実施するものとします。

\*何故、アメリカの教育か？：クリティカルシンキングの必要性：

今年、内閣の諮問機関として「教育再生会議」が1月に第1次提案書を、6月に第2次提案書を提出しました。これによれば、「現行、週5日制は隔週5日制へ逆戻りし、授業時間数を10%増やし、内容を20%増やすこと。」としています。要は「ゆとり教育を廃し、学力向上を目指すことを主眼とする。」こととなります。これには様々な議論がありますが、重要なことは日本の将来をどの様に持って行くか、またそのための人材育成(教育)をどの様にすべきかの議論がなされず、学力向上のみ結論付けられているということです。何のために“ゆとり教育”が実施されてきたかを省みることなく、約2年で元へ戻そうとする蛮行がまかり通るは将来を誤ることと言えます。それだけに、我々自身がしっかりと自分や子供の将来を考える必要があります。このためにも、クリティカルシンキングが不可欠と言えます。

\*日本の教育の方向（あるべき姿）：先に述べた日本の将来を考えるため、参考として、下記の本から一部項目のみを引用させていただきます。

最近の本で「日本の選択」（著者：ビル・エモット、ピーター・タスカ）と題する本が話題を呼んでいます。日本の将来を論じた本ですが、一意見として日本が選択すべき項目を紹介したいと思えます。

日本の選択すべき項目：

- 1) グローバル化か、日本の孤立主義か
- 2) アジアと組むかアメリカと組むか（日本主導のアジア協力機構の構築）
- 3) 実践的軍事力か、平和主義か（アジアでもないアメリカでもない第3の道）
- 4) 「美しい国」か、「刺激的な国」か

これらに対して私は以下のように考えます。

- 1) グローバル化を進めるべき： 貿易立国を目指す以上孤立主義は取れない。ただし、世界に対して堂々と主張を述べ自国の利益を確保しつつ、顔が見えるようにする。これが真のグローバル化である。
- 2) アジアと組むかアメリカと組むか： グローバル化は必ずしもアメリカ化ではない。グローバル化と同時に日本はもっとアジアにおいて主導的活躍を果たさねばならない。これには中国との関係が重要となる。中国とアメリカとの付き合いのバランスを取る。どこでバランスを取るかはある程度の原則を守り、且つ時代と共に相手の出方で変化させることも重要である。
- 3) 実践的軍事力か、平和主義か（アジアでもないアメリカでもない第3の道）： 貿易立国を目指す以上平和主義を取るべきである。ただし、国連や第三者機関を支援しながら時には相応の役割(軍事的なものも含め)を果たす覚悟が必要となる。

4) 「美しい国」か、「刺激的な国」か： 日本は今でも文化的に十分美しい国である。これを保持しつつ、技術や文化的に優れ、刺激的あるべきである。これにはオリジナリティがあり、優れていることが重要である。そのためには創造性が不可欠である。

以上をまとめ、人材育成の観点から整理すると以下となります。

\*人材育成および教育システム構築の目標：  
創造性豊かな人材の育成

- 1) 創造性豊かな人材の育成
- 2) 自分の考えを持ち、外国へ向かってものが言える人材の育成
- 3) 国際的に通用するリーダーとなるべき人材育成。
- 4) ビジネスだけでなく個人的にも付き合いたいと思わせる魅力ある日本人の育成
- 5) 外国人が日本に留学したいと思われる内容のある大学教育システムの構築

以上の目標を達成するには、個人レベルでは本プログラムが目標とする国際コミュニケーション・ツールとして“英語力を強化”と“考える力の育成”が不可欠です。

特に、中・高校生にあっては、自我に目覚め、自分の意見を主張できる大事な時です。自分の意見を持つためには視野を広く持ち、よく考えることが重要で、これにはクリティカルシンキングをマスターする必要があります。従って、この取得方法として、英語によるイメージ教育(教科を教える)かつ内容としてクリティカルシンキングに重点を置いたプログラムがベストであると考えます。

### 2. 講座の実施期間

中学、高校生クラス共、年間を通し下記の3学期制を採用しています。

- ・春季講座：4月中旬～7月中旬、4ヶ月12回(36レッスン)
- ・秋季講座：9月中旬～12月中旬、4ヶ月12回(36レッスン)
- ・冬季講座：1月中旬～3月末、3ヶ月11回(33レッスン)

### 3. プログラムの概要

#### 3.1 帰国子女プログラム全体構成およびシステム

本講座をスタートして、丸7年が経ちました。当初より、本講座は上記目的に合わせイメージ教育の一環として、種々の特徴を持たせ、且つ日本ではユニークな講座を行なってきました。また、お蔭様で多くの方から好評を得てきました。

実は、この帰国子女プログラムも最初は中学生クラスからスタートしたのです。この時、中学1年生の生徒が1名だけでした。これは既に本誌11号「イメージ方式によるバイリンガル教育について」で紹介しています。それから7年が経ち、序々にですが、生徒数も増え、学年も小学生、それも低学年へと広がってきています。即ち、若令化しつつありますが、これらに対処しながら中学や高校生を満足させるよう、当学院として一層充実させ、より良いものへと模索している段階です。

クラス構成としては、高校、中学生はプライベートレッスン、小学・中・下級生はセミ・プライベートの形態となっています。さらに、この年秋季では小学・下級生クラスは午前、中学生以上は午後に授業を行い、合計5クラス編成となりました。それぞれに充実していたと思います。いずれにせよ、セミプライベート授業で、生徒の質にも恵まれ、理想的な授業ができていると思います。今後共生生徒数は増えることを期待しつつも、セミプライベートレッスンを基本に進めていきたいと考えます。

プライベートまたはセミプライベートにこだわるのは、1人1人を大切に、且つ、生徒も生徒同士、および先生やアシスタントとの交わりを大切にすることが社会性を培う意味で重要と考えるためです。このため、生徒の組合せも重要となってきますし、コスト増は避けられません。これらは、皆様のご理解とご支持あればこそ可能となります。また、授業は生徒が楽しんで行なわれることが重要であり、この点も満足頂いております。ただし中学生および高校生クラスは実際的にはプライベートで行いますが、最終授業はプレゼンテーションで、これは合同で行い、質疑やディスカッションを行います。

#### 3.2 中学および高校生クラスの構成およびシステム

この中学および高校生クラスは、現在それぞれ1クラスで授業を行っています。以下に、昨年秋行った授業を中心にそれぞれの講座を紹介します。(表-1参照)

学期毎のテーマは中学生、高校生共に共通しております。この学期は共にサイエンス(地球および宇宙)としました。またクラスの目標も同じく下記としています。ただし、年齢やクラスの状態を見ながら実施している段階です。

- ①様々な学問領域に対しての理解を深め、自分の考えを効果的に表現する。特に、裾野を広く且つ、文化系、理科系を問わず知識のバランスを重視し、所謂「富士山型」人間形成を目指しています。
- ②セルフスタディに必要な学習スキルを身に付ける。
- ③クリティカルシンキングを授業に取り入れる。
- ④発表能力を確立する。

上記目標を達成するための仕組み・システムが作られています。また、内容もこの目的に合わせて、学期毎にカリキュラムが作られています。ただし、通常の学校とは異なり授業時間数が少ないためサイエンスと社会科学や文科系教科のバランスを取ることができるよう隔学期毎に交互に進めています。

この学期はサイエンス(地球および宇宙)をメインテーマとして授業を進めてきました。このクラスは、これまで同様、中間期でのプレゼンテーションは生徒の興味あるテーマを、そして、最終回は講師の指示によりサイエンス(地球および宇宙)を共通テーマとして取り上げ、各人には、これに関連するテーマを個々に与え、実施しました。このサイエンス授業は中学生クラスはCraig先生、高校生クラスはMochan先生が担当しました。宇宙開発については学院長の経験を生かし関連知識を教える授業も行いました。ただし、今回は中間プレゼンでも地球と宇宙に関するテーマを選んでプレゼンを行いました。これは、生徒の興味がこの部門に関心が強かったことに他なりません。



高校生のプレゼンテーション

表-1: 帰国子女向、バイリンガル教育(補習校)プログラム・日程表  
LESSON SCHEDULE OF US EDUCATION FOR RETURENNES  
Autumn Term in '06 Afternoon Class (14:00-17:00)  
(Junior high school students class)

DATE	CURRICULUM	OUTLINE CONTENTS	
1 9/16	ORIENTATION	EXPLANATION OF CONTENTS OF THIS PROGRAM IN THIS SEMESTER	1H
	ENGLISH LEARNING	Mini-discussion,debate/ Vocabulary works	2H
	SCIENCE	"The Earth" Outer Space and its environment	
2 9/30	ENGLISH LEARNING	same as the above and focusing on students' weak area	
	READING	short stories,articles excerpts from textbooks,which again lead to discussion	
3 10/7	ENGLISH LEARNING	Mini-discussion,debate/ Vocabulary works / and focusing students' weak area	1H
	CREATIVE WRITING	writing essay or composition	2H
	SCIENCE	"The Earth" Atomosphric system	
4 10/14	ENGLISH LEARNING	Mini-discussion,debate/ Vocabulary works / and focusing students' weak area	1H
	READING	short stories,articles excerpts from textbooks,which again lead to discussion	2H
5 10/21	ENGLISH LEARNING	Mini-discussion,debate/ Vocabulary works / and focusing students' weak area	1H
	CREATIVE WRITING	writing essay or composition	2H
	SCIENCE	"The Earth" Magnetic Field	
6 10/28	ENGLISH LEARNING	Mini-discussion,debate/ Vocabulary works / and focusing students' weak area	1H
	CREATIVE WRITING (ESSAY)	writing essay or composition	2H
7 11/4	ENGLISH LEARNING	Mini-discussion,debate/ Vocabulary works / and focusing students' weak area	1H
	CREATIVE WRITING (ESSAY)	writing essay or composition	2H
8 11/11	ENGLISH LEARNING	Mini-discussion,debate/ Vocabulary works / and focusing students' weak area	1H
	READING	short stories,articles excerpts from textbooks,which again lead to discussion	2H
9 11/18	ENGLISH LEARNING	Mini-discussion,debate/ Vocabulary works / and focusing students' weak area	1H
	CREATIVE WRITING	writing essay or composition	2H
	SCIENCE	"The Earth" Water cycle system	
10 11/25	PROJECT WORK (Preparation)	Working together for preparation of project work.	1H
	PROJECT WORK (Preparation)	to continue the above.	2H
11 12/2	ENGLISH LEARNING	Students to express opinions and give a presentation in which students are interested	1H
	CREATIVE WRITING (ESSAY)	writing essay or composition	2H
12 12/9	PROJECT WORK (Preparation)	to continue the above	2H
	PRESENTATION	Students to express opinions and give a presentation in which students are interested	1H

このプログラム紹介は、次号につづきます。

### ABCD 学院

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-26-12  
TEL:03-5365-1341 FAX:03-5365-1340  
http://www.abcdce.co.jp/



ABCD 学院の帰国子女対象プログラムの内、中学・高校生クラスの詳細な紹介が始まります。今回はその1回目です。

中学・高校生クラスは、ネイティブの先生から1対1でしっかり指導を受ける、ほとんど個別のクラスです。その指導の哲学は、エンジニアとして国際的な仕事をしてこられた千葉さんご自身の経験が元になっています。具体的な目標は考える力の育成・英語力の教科です。このプログラムも、丸7年を経ましたが、より充実した内容で指導方法を目指しています。次号以降、詳細な報告の続きをご覧ください。